

#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

ルカ福音書幼力年牛物語の4つの詩歌

- マリアの歌
- ザカリヤの歌
- 御使と天の軍勢の賛美
- シメオンの歌



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

預言の成就

あたしたちの父祖アブラハムとその子孫とをどこ
しえにああれむと約束なされたとおりに (マリア)

父祖アブラハムにお立てになった誓いをおぼえ
て (ザカリヤ)



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

登場人物の連想

- 御使ガブリエル
 - ダニエル書七十週の預言
(マタイ福音書の東方の博士 – バビロンの知者)
- エリサベツ アロンの家系 – アロンの妻エリシエバ
- マリア (ミリアム) – アロンとモーセの姉ミリアム



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

ハンナの歌の連想

- ハンナもエリサベツも不妊の女性
- ハンナはダビデに油注ぐサムエルを産む
- エリサベツは主イエスに洗礼を与えるヨハネを産む
- ヨハネ (ヨハナン) はハンナと同じあわれみ



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

マリアとザカリヤの歌のキーワード

マリア 1:50 そのあわれみは、代々限りなく主をかしこみ恐れる者に及びます。

マリア 1:54 主は、あわれみをお忘れにならず、その僕イスラエルを助けてくださいました、

ザカリヤ 1:72 こうして、神はあたしたちの父祖たちにあわれみをかけ

ザカリヤ 1:78 これはあたしたちの神のあわれみ深いみこころによる。



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

あわれみ (恵み) 主の名

主は彼の前を過ぎで宣べられた。「主、
主、あわれみあり、恵みあり、怒ることおそ
く、いつくしみと、まこととの豊かなる神、

出エジプト記34:6



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

あわれみ (恵み・いづくしみ) はとこしえまで
主をほめたたえよ。主に感謝せよ、主は恵
みあふかく、そのいづくしみはとこしえに絶え
ることがない。詩篇106:1



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

ザカリヤの歌の出だしと詩篇

主なるイスラエルの神は、ほむべきかな。ザカリヤ1:68

卷末 詩篇41, 72, 89, 106, 150

モーセの律法と預言書と詩篇とに、あたしについて書いてあることは、必ずことごとく成就する ルカ24:44



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

マラキ書の預言

しかしあが名を恐れるあなたがたには、義の太陽がのぼり、
見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、あたしは預言者エ
リヤをあなたがたにつかあす。

彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその
父に向けさせる。 マラキ4:2,5,6



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

ノルベルト・ローフィンク
 ドイツ・カトリックの司祭 イエズス会の神学者
 「旧約聖書とキリスト者の日常生活
 — ルカ福音書の幼年物語における詩歌」
 上智大学神学会神学ダイジェスト2002年夏



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

4つの歌は神の救いの歴史全体を表す

- マリア 民が"救い出される"
- ザカリヤ "ダビデ"の子が"救う"
- 御使 いと高きところの栄光と平和
- シメオン 全世界の救い



#8 マリアの歌 (ルカ福音書1-2章)

キリスト者が"日常生活でみことば"を歌う

地上での日々の生活が、神を讃える賛美によって、偉大な神の歴史につながっていることを体感する



マリア

「わたしの魂は主をあがめ、

47 わたしの霊は救主なる神をたたえます。

48 この卑しい女をさえ、

心にかけてくださいました。

今からのち代々の人々は、

わたしをさいわいな女と言うでしょう、

49 力あるかたが、

わたしに大きな事をしてくださいったからです。

そのみ名はきよく、

50 そのあわれみは、代々限りなく

主をかしくみ恐れる者に及びます。

51 主はみ腕をもつて力をふるい、

心の思いのおごり高ぶる者を追い散らし、

52 権力ある者を王座から引きおろし、

卑しい者を引き上げ、

53 飢えている者を良いもので飽かせ、

富んでいる者を空腹のまま帰らせなさいます。

54 主は、あわれみをお忘れにならず、

その僕イスラエルを助けてくださいました、

55 わたしたちの父祖アブラハムとその子孫とを

とこしえにあわれむと約束なされたとおりに」。



マリアの歌（ルカ福音書1-2章）

（聖書人になりたい・シーズン4） 聖書の教えと朗読 #8

ザカリヤ

- 68 「主なるイスラエルの神は、ほむべきかな。
神はその民を顧みてこれをあがない、
69 わたしたちのために救の角を
僕ダビデの家にお立てになった。
70 古くから、聖なる預言者たちの口によつて
お語りになったように、
71 わたしたちを敵から、
またすべてわたしたちを憎む者の手から、
救い出すためである。
72 こうして、神はわたしたちの父祖たちに
あわれみをかけ、
その聖なる契約、
73 すなわち、父祖アブラムにお立てになった
誓いをおぼえて、
74 わたしたちを敵の手から救い出し、
75 生きている限り、きよく正しく、
みまえに恐れなく
仕えさせてくださるのである。
76 幼な子よ、あなたは、
いと高き者の預言者と呼ばれるであろう。
主のみまえに先立って行き、その道を備え、
77 罪のゆるしによる救を
その民に知らせるのであるから。
78 これはわたしたちの神の
あわれみ深いみこころによる。
また、そのあわれみによつて、
日の光が上からわたしたちに臨み、
79 暗黒と死の陰とに住む者を照し、
わたしたちの足を平和の道へ導くであろう」。



御使と天の軍勢

14 「いと高きところでは、

神に栄光があるように、

地の上では、

み心にかなう人々に平和があるように」。

シメオン

29 「主よ、今こそ、あなたはみ言葉のとおり

この僕を安らかに去らせてくださいます、

30 わたしの目が今あなたの救を見たのですから。

31 この救はあなたが万民のまえにお備えになったもので、

32 異邦人を照す啓示の光、

み民イスラエルの栄光であります」。

